



陽子の道政だより

54

2012年秋号

発行 平出陽子後援会

発行責任者 上田小八重

連絡先／函館市中島町2-8
北教組函館支部内
(☎ 33-5080)

私たちの責任で、子どもたちの未来に希望を！



北海道議会議員
平出陽子

大きな期待を寄せて誕生した民主党も、国民の皆様の期待通りには進まず、却つて失望感が増長されているのは残念なことです。

けれど「教育や福祉」の分野では大きな前進がいくつもありました。(高校実質無料化・小中学校耐震化・三十人学級・新児童手当・保育所拡充や定員増・不妊治療助成拡充等)

子どもたちが自分の未来に希望が持て、自分の人生を選び取ることができる社会を、私たち大人が整備しなければならない責務があります。

私も鹿児島で、高校再編の地域要望を町長さんから伺つたり(写真①)、渡島管内の町長さん教育長さんたちと教育予算拡充の意見交換(写真②)したり、先生たちと学校現場の進路指導の実態を交流(写真③)して、教育行政に反映しています。地域の力を結集することが重要だと再認識しています。

定例議会では児童虐待の質問(写真④)をしました。大阪の「性暴力被害者救援センター」で衝撃的性暴力の実態を調査(写真⑤)してきたからです。議会活動をして二十二年目になりますが、意識改革の難しさを痛感し、世の中の不条理に怒っています。皆様の御支援をいただきながら、子どもたちの未来のため尽力致します。



児童虐待について質問
—第3回定例会予算特別委員会—

△平出▽性暴力とは成人女性が被害に遭うと想いがちですが、被害者の半数以上が未成年であるという実態から、「児童福祉」の面から質問しました。

各自治体の保健師さんたちが児童虐待防止のマニュアル本として「母子保健」を活用しています。内容からは「子育ては母親」という考え方しか読み取れませんので、児童虐待防止のためにも父親と共に子育てすることが重要であると強調しました。

△性虐待された児童はその後の生き方に悪影響を及ぼすと言われていますが、

△平出▽身体的・心理的に重大な影響があり、自己否定になります。性的自己決定力が奪われます。被害者の実態を知り、事の重大さを認識し、加害者を出さない教育・啓発が重要です。

△これまで性暴力被害者への支援に取り組んできたようですが、今回質問した児童虐待のひとつ「性の虐待」と性暴力との関連について教えて下さい。

△性の虐待は性的自己決定力を奪う△

児童虐待は人権侵害

で見る 陽子の道政日記



▲路面電車消音のための芝植生
(鹿児島市)



▲第62次合同教研集会
—女子教育問題分科会—



△障がい児・者の浴用機械の見学
—はこだて療育・自立支援センター—

陽子の納涼ビアパーティー



▲脱原発街宣活動



▲泊原発再稼働反対署名活動



▲レークマコーリー市からの訪問団歓迎会



▲大間原発建設敷地内
「あさこはうす」支援活動(青森県大間町)

猛暑の夏が終わり、あつという間に秋が深まりました。この間、教育、福祉、医療の問題を中心に道議会で訴え活動をしてきた平出陽子議員。誰もが安心して生活できる社会の実現のため、原発事故後福島が背負わされている苦しみを繰り返させないため、弱い立場におかれている市民の声にも耳を傾け行動してきました。市民に寄り添い、市民の側に立つ議員に期待する声が広がっています。その声に応えるため平出陽子を後援会としても支えるとともに、皆様にいたします。

あとがき